

2月2日（月）

◆氷上わかさぎ釣り

わかさぎ釣り場としても有名な桧原湖でわかさぎ釣りを体験。氷上ハウスの中は思った以上に暖かく、1匹釣れるごとに笑顔が見られた。湖からは4人程度にわかれてスノーモービルで移動、雪が降らない地域の研修生たちは皆、大喜びだった。釣ったわかさぎはその場で調理。揚げたてを食べることができた。



わかさぎ釣り体験



雪に大喜び



揚げたてのわかさぎ

◆野口英世記念館

研修生の母国ともつながりのある野口英世博士の記念館を訪問。研修生たちは野口博士の遺品や資料などの展示物を見ながら、館内を見学した。



館内の見学

2月3日（火）

◆新地町役場

東日本大震災で津波被害を受けた新地町を訪問。新地町役場の展望ロビーにて、福島県復興支援員の方から震災当時の状況や復旧に向けた動きについて説明を受けた。研修生たちは熱心にメモをとりながら、担当者の話に耳を傾けていた。



◆みんな共和国

震災後に南相馬市に立ち上がった活動団体『みんな共和国』を訪問した。福島第一原発事故後、放射線の情報が錯綜し、親が子供を外で遊ばせることに不安を感じた当時の状況や、安心して遊べる奥内遊び場の提供や公園の除染等の活動内容について、研修生は理解を深めた。



担当者からお話を伺います



子どもの遊び場

◆震災で見た相馬野馬追の力

南相馬市にある銘醸館を訪問し、相馬地方の伝統的祭りである相馬野馬追について、南相馬市観光ボランティアガイドから説明を受けた。研修生は、震災当時の思いや伝統行事が持つ役割について理解を深めた。また、甲冑の着付けも体験し、野馬追の歴史に触れることができた。



ほら貝の音も初体験



全員で甲冑体験

◆節分

福島稲荷神社で開催された節分行事の豆まきに参加した。夕方だったため、研修生は寒さに震えながらも日本の伝統行事を楽しんだ。

